

トレサンセールの20

メス 2020年3月3日生 | 鹿毛 | 美浦・稲垣幸雄厩舎 | 門別山際牧場生産



一口価格： **11,000円** ※2022年保険料 352円 募集口数：1000口【競走馬出資金総額 1,100万円】



治郎丸敬之の馬体診断

パッと見た瞬間、オルフェーヴル産駒の牝馬ではと思わせるほど、典型的なオルフェーヴル産駒の牝馬です（変な表現ですが）。強引にイメージを当てはめるとすれば、オルフェーヴル産駒の牝馬であるシャインガーネットに近い雰囲気を持っていますね。額の流星といい、気の強そうな表情といい、牝馬としては筋肉量があって、ややコロンとして映る体型であったり。ということは、ファルコンステークス（芝1400m）を勝ったシャインガーネットのように、トレサンセールの20も芝のマイル以下のレースを主戦場として活躍するのではないかと想像します。重厚な母系にオルフェーヴルという血統背景からは、いかにも芝の中長距離が適性に思えますが、馬体は短ところが得意と語っているのです。今後の課題としては、オルフェーヴル産駒の牝馬は馬体が小さくなりがちなので、たくさん食べて運動して、馬体を少しでも大きく成長させることでしょう。450kg以上の馬体重でデビューできることが理想です。

POINT

父オルフェーヴルは産駒の気性面が嫌われてか、種牡馬入り6年目の2019年に種付け頭数が52頭と一気に急減。本馬は希少なその世代の一頭となります。しかしその後、ラッキーライラックやエポカド一口の活躍で20年165頭、21年157頭と、自身の産駒成績でV字回復させた所もオルフェーヴルらしさ。クラシックはもちろんの事、芝3600mのステイヤーズSから、ダ1200mの東京盃まで、あらゆる条件で活躍馬を出しているのは、父から強く遺伝する前向きな気性があるからこそではないでしょうか。本馬もいかにもオルフェーヴル産駒らしい気の強さを身に纏っておりますが、その前向きな気性がレースに向かった時、爆発的なパワーを発揮してくれると思います。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。